**令和５年度　多摩市立多摩永山中学校　　授業改善推進プラン　　教科名**

国語

|  |  |
| --- | --- |
| **国語科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて** | |
| ア　知識及び技能 | イ　思考力、判断力、表現力等 |
| （全ての観点）  ・板書を過不足なく写し、必要なことや調べたいことがあれば適宜調べ、ノートをまとめることができる。 | ・（書くこと）自分の考えを相手にわかりやすく表現することができる。  ・（話すこと・聞くこと）聞いたことをメモに取り、必要に応じて活用することができる。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生徒の学力の状況（課題） | 授業における具体的な手だて | 手だての実施時期 | 成果検証（２月） |
| 第１学年 | ・ノート提出を通し、黒板に書かれていることをプリントやノートに写すことは概ねできているが、黒板に書かれていない話や、他生徒の発言をメモしたり、内容を自分なりにまとめたりすることに課題が見られた。　イ | ・ノートのまとめ方や、メモしてほしい部分を伝えるとともに、上手にまとめられているノートを共有することで、自分なりにまとめる力を身につけさせる。 | ・単元終了毎のノート提出。  通年 |  |
| 第２学年 | ・定期テストで、文章で答えるときに、文末表現を間違えたり、書かないことがあったりと「書く」ことに課題が見られた。イ  ・ノートの提出を通して、書かれていることをノートに写すことはできるが、聞いた話をメモしたり、自分でレイアウトしまとめたりすることに課題のある生徒が多く見られた。ア | ・文中の登場人物のセリフを考えたり、200字作文で自分の意見を表現したりするなど、自分で考え表現する活動を多く取り入れる。  ・定期テストごとにノートを回収し、よくできたものは共有することで、まとめる力をつけさせる。 | ・各単元ごと  通年  ・定期テスト終了時  　通年 |  |
| 第３学年 | ・定期テストや実力テストにおける、文章の読解や設問文の読解・答え方に課題が見られる。ア | ・入試に備えて多様な文章問題をこなし、文章に触れる機会を増やす。  ・文章読解の中で、登場人物の心情や、作者の意図を汲み取る機会を増やす。 | ・夏休み課題  実力テスト・問題実施時  ・通年 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について** | **■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学び**  **に向かう力」の育成に向けた取組について** |
| **全学年**  **・ノートを取る際に、プリントを映し出し、一緒にまとめることで書く場所を示し、円滑に作業を進めることにつなげる。【重点：個別】**  **・生徒の成果物の収集、共有が円滑にでき、色々なものを見て自身の課題や良さを見つけることにつなげる。【重点：協働】** | **１・２・3年　「単元学習プリント」を作成し、単元全体を理解したうえで実践し、学びの振り返りを行うことで学習の質や見通しをもたせる。** |